

せんなん感染症情報 令和5年8月号

宮城県感染症発生動向調査 第29週～第32週より（令和5年7月17日～令和5年8月13日）

宮城県仙南保健所

仙南保健所管内の全数報告疾病

- 1 類感染症：報告なし
- 2 類感染症：結核（無症状病原体保有者）女性1名（第28週）
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症（O157）男性1名
- 4 類感染症：報告なし
- 5 類感染症：報告なし

仙南保健所管内の感染症警報・注意報
第32週現在、ヘルパンギーナが警報レベルを継続中です。



仙南保健所オリジナルキャラクター「てあらっこ」

仙南保健所管内の集団発生報告

- ヘルパンギーナ：保育園1件
- ORSウイルス感染症：保育園2件
- 新型コロナウイルス感染症：医療機関1件、高齢者施設3件、保育所1件

★ 特集 「腸管出血性大腸菌感染症」に注意しましょう

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する病原体大腸菌による感染症です。その代表的なものにO157、O26などがあります。毎年、初夏から初秋にかけて多発するため注意が必要です。

汚染された食物を摂取したり、便の中に排出された細菌を手指や水などを介して摂取することで感染します。感染力が非常に強く、少量の細菌を摂取するだけで感染する可能性があるため、予防対策を徹底しましょう。

【潜伏期間】2～5日（最大12日）

【症状】激しい腹痛を伴う頻回の水様便、血便、発熱（37℃台が多い）

※抵抗力の弱い高齢者や子どもが感染すると重症化することがあるため注意が必要です。

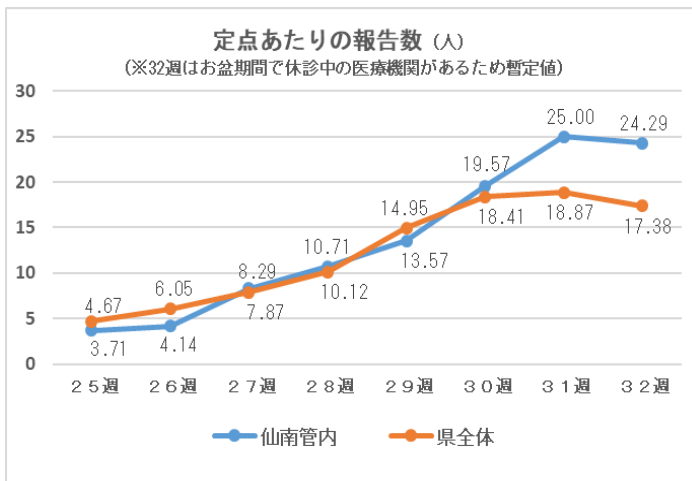
【予防方法】

- 1 トイレの後、食事の前、調理の前などに、石けんと流水で手をよく洗う。
- 2 食品は十分に洗い、中心までよく加熱する（75℃以上で1分以上加熱）。
- 3 調理器具（まな板・包丁・ふきんなど）は、その都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒する。
- 4 食品は冷蔵保存（10℃以下）する。時間が経ちすぎた食品は、思い切って捨てる。
- 5 下痢などの症状がある場合は、できるだけ浴槽に入らず、かけ湯かシャワーで済ませる。バスタオルや手ふきタオルは共有せず、個別のものを準備する。



※もっと詳しくお知りになりたい方はこちら → [腸管出血性大腸菌感染症とは \(niid.go.jp\)](https://niid.go.jp)
[腸管出血性大腸菌Q & A \(mhlw.go.jp\)](https://mhlw.go.jp)

★ 新型コロナウイルス感染症について



仙南管内、県全体ともに31週まで増加傾向が続き、現在も高止まりの状況となっています。仙南管内では、医療機関や社会福祉施設での集団発生の報告も増えています。引き続き、発生動向に注意し、基本的な感染対策への御協力をお願いします。

◆ 社会福祉施設等において集団感染が発生した場合

みやぎ電子申請システムのリンクからご報告をお願い致します。

[感染症が集団発生した場合の報告について - 宮城県公式ウェブサイト \(pref.miyagi.jp\)](https://pref.miyagi.jp)

- 御意見・御質問などは仙南保健所疾病対策班までお願いします。 電話：0224-53-3121 FAX：0224-52-3678
- この情報は、宮城県仙南保健福祉事務所HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sn-hohoku/>) にも掲載してあります。
- もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP (<https://www.pref.miyagi.jp/>)、宮城県保健環境センターHP (<http://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/>) をご覧ください。